

園だより

令和3年11月1日発行
わさだりすの森保育園



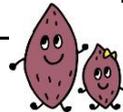
11月号

日が暮れるのが段々と早くなり冬の訪れを感じます。これから、冬に向けての準備も少しずつはじめなければいけませんね。ケガや病気をしたときによく使う「手当て」という言葉・・・手を当てる、触れることで心身の苦痛を和らげる、昔から人々が行ってきた癒しの方法でもあります。手のひらには自然治癒力を引き出す不思議な力があるそうです。また、子育てのなかで優しい気持ちを育てたいという思いを持つ方もたくさんいることだと思います。乳幼児期に関わる重要な人たちに抱っこされたり、さすってもらったり、なでてもらうたり、触れてもらったりする身体的触覚を通して優しい気持ちを育てることができ、そしてする側の大人にも優しい気持ちが育まれるそうです。優しいから抱っこするのではなく、抱っこしたり触れたりする経験が多い人に優しい気持ちが育まれるそうです。子どもたちの頭を優しくなでてあげたり、背中を優しくさすってあげたりたくさん触れてあげて下さいね。今月もどうぞよろしくお願い致します。

今月の行事予定表

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3 文化の日	4 保護者会 役員会	5 園外保育	6	7
8 お花の教室	9	10	11	12	13	14
15	16	17 食育指導 (3.4.5歳児)	18 避難訓練	19	20	21
22	23 勤労感謝の日	24	25 誕生日会	26	27	28
29	30	※内科検診を予定しています。日程が決まり次第お知らせします。 ※12月18日(土)・・・生活発表会を予定しています。				

おいもほりを通して育つ・・・



子どもたちにとって、芋ほりは普段とは違う体験ができる貴重な機会にもなります。子どもたちの小さな手で掘ることは簡単なことではなく、なかなか抜けないこともあります。それでもあきらめず、お芋のまわりの土を掘り続けようやく抜けた時には「みて！みて！掘れたー！」と立ち上がって大喜びしていました。そんな隣では、まだお芋を見つける事のできないお友だちが焦りと不安な表情で土を掘り続けていましたが、見つけた時には目が輝き土を掘る手も自然にすばやくなり、手の動きに喜びと期待があふれていました。時には、お芋がたくさん連なって出てくるときもあり、「1.2.3・・・」数をかぞえたり、もう一本見つけて足し算をしたり・・・お友だちと大きさを比べたりと数や量に感心を持ちながら感覚を養っていました。一生懸命探しても、お芋を見つけれないお友だちもいました。そろそろ終わりにしようか という先生の声を聞いて、悲しそうにしていた時、そんな様子に気がついたおともだちが自分の持っている二本あるうちの一本持って来て「こっち、いいよ！」と渡してくれました。相手の気持ちを考えて関わるができるお友だち・・・お友だちが受け取ってくれると自分が相手の役に立った喜びを感じとても素敵な表情を見せていました。お芋掘りに夢中になりすぎて気がつく、畝の上で四つん這いになって一生懸命に掘り続けるお友だちもいました。まさしく、これこそ生きる力につながる姿なのかもしれないと感じました。お芋掘りを通して子どもたちの様々な成長した姿に気がつく良い機会にもなりました。

お知らせ・お願い



おんぶひもを集めています。

先日の避難訓練では、津波の想定で実施しました。その後の話し合いの中で、子どもたちを避難カートに乗せて宗方小学校までのあの長い坂道を押してあげられるのかという不安がでてきました。やはり、職員一人一人が小さいお友だちをおんぶして避難する事の方が確実では・・・という事になりました。いつ起こるかわからないもしもの時にみんなの命を守るためにも最善の努力に努めなければなりません。もし家庭に使用しなくなったおんぶひもがある方は、保育園の方に譲っていただけると助かります。どうぞよろしくお願い致します。



勤労感謝の日



働いている人に「ありがとう」と感謝の気持ちをもつ日です。お仕事をすることを大切にし生活に必要なものを作り出す事を祝いしたりする日でもあります。お仕事をしてくれる人がいるから毎日生活ができますよね。そんな感謝の気持ちをこめて保育園では、3.4.5歳児さんが代表して、働く人へ感謝の気持ちを伝えに行ってきます♪♪場所は整い次第お知らせいたします。

11月中旬より工藤先生が産休に入ります。

子どもたちの環境の変化に配慮しながら、円滑にクラス運営が行われるように努めていきたいと思ひます。

